



令和7年度 佐渡市立両津吉井小学校

グランドデザイン

よっ!

いいね

新しいことや困難なことにチャレンジしようとするときに発する「よっ!」、誰かのチャレンジを認める・認め合うときに発する「いいね」。この「よっ!」と「いいね」があふれるのが両津吉井小学校です。子どもも大人も、失敗を恐れることなく、やりたいこと・ありたい姿に向けて挑戦する学校です。

令和7年度の教育目標と目指す子どもの姿

伸びゆく子ら

Wonder! 考え、つながり、未来を創る吉井っ子



約四半世紀受け継いできた教育目標を継続しつつ、令和の時代に求められる姿を表したものの。「Wonder!」は、誰もがもつ物事を不思議に思う気持ち。そして、疑問や興味、さらには探究のエンジンでもあります。この「Wonder!」を大切に育てながら「豊かな学び」を実現し、予測困難な時代を生き抜く「未来を創る力」を育みたいと考えています。



Illustrated by Keiko Hirano

project 知 問いをもち、探究し、自らの学びを未来につなげる子

- # 対話のある学び
- # 「問い」や「願い」を大切にしたい授業
- # 探究的な学び
- # 確かな学力
- # 学びの自己調整
- # ICTの活用
- # 単元づくり
- # 中核的な概念や方略
- # 学びのオーナーシップ
- # 少なく教えて、豊かに学ぶ



「Wonder!」を原動力に「問い」や「願い」を大切にしたい学習をとおして、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。また小規模校という特性を最大限に生かし、一人一人の学習状況を丁寧に見取るとともに、互いの「考え」や「思い」を大切にしたい対話的な学びを進めていきます。そして、「自らの学びには自らが責任をもつ」という「学びに向かう力」を育てていきます。

<学校評価の観点>

- 「学び方」に関する意識が高まった児童が75%以上になる
(主体的・対話的で深い学びの実現)

project 徳 自分を大切にし、他者と協働し、地域に貢献する子

- # 自己肯定感
- # 自己有用感
- # 「自由の相互承認」
- # キャリアカウンセリング
- # ふるさと学「佐渡学」
- # セーフティの確立
- # なりたい自分・ありたい自分
- # 自然とっぴり体験
- # 対話による合意形成



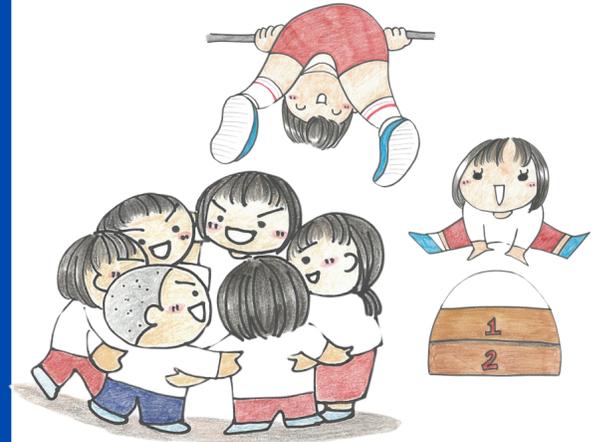
周りの人と協働して困難な課題に立ち向かう...これは、すべてのよしいっ子に育てたい資質・能力です。小学校時代では、安心・安全な土壌で失敗も含め、多くの経験を通して自己有用感・自己肯定感を育てることが大切です。また、学びをとおして考えたことを発信することで、よりよい地域づくりに貢献しているという感覚を得る経験も大切にしていきたいと考えています。

<学校評価の観点>

- みんなから自分のよいところを感謝されたりほめられたりしたことがある児童が90%以上になる
(自己有用感をもつ児童の育成)

project 体 健やかな身体とたくましい心を持ち、挑戦を楽しむ子

- # チャレンジ
- # まずはやってみる
- # 「背伸び」
- # 自己選択・自己決定
- # 責任感
- # やりめく力
- # 失敗を恐れない
- # ふりかえり
- # レジリエンス
- # セルフマネジメント
- # メディアコントロール



豊かな運動習慣や、整った生活習慣は健やかな成長に必須です。自らの健康に目を向け、課題を明らかにし、目標を立てて自分をコントロールする力を育てていきます。また、失敗を恐れずに物事に挑戦する、やりめく、失敗から立ち直るなど、これからの時代を生き抜くために必要な「非認知能力」も多様なチャレンジ経験を通して育てていきます。

<学校評価の観点>

- 体育や休み時間に、進んで運動に取り組むことができる児童が85%以上になる
(意欲的に運動に取り組む児童の育成)

支える

「地域と共にある学校」：心のふるさと・誇りの象徴である両津吉井小学校

- # 両津吉井小学校 PTA
- # 学校運営協議会
- # CSポートフォリオ
- # 「よしいっ子発」の活動
- # おやじの会
- # よしいっ子の森
- # 放課後子ども教室
- # 教職員の行動指針：自律・対話・笑顔
- # 両津吉井小学校同窓会
- # 学校支援ボランティア



地域の人々によって創られ、守り育てられてきた両津吉井小学校。創立当初から「地域と共にある学校」であり続けてきました。今後も「こどもまんなか」の考え方を大切に、持続可能な社会の創り手となる市民性をよしいっ子に育てるため、役割を果たし合い、応え合って活動します。

